

みつぎ便り

第203号 8月号 令和5年8月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です

生命

板橋区の中ほどにある見次公園、住所は前野町四丁目、昭和二十八年四月に開園、面積約一四〇〇〇平方メートルその約四十五パーセントが池で、その面積は約六〇〇〇平方メートル、二十五メートルプールの幅が二メートルとして約一二〇レーン（コース）相当でしょうか、その広い池の中にはカメ、ザリガニ、コイヘラブナ、タナゴ、クチボソ、モツゴ、ブルーギル、カニ等まだまだいると思います。

池の外では沢山の植物、野鳥、蝶昆虫、爬虫類が生きています。もちろんそれぞれに名前が有り、この見次公園で命を育んでいます。自分の命の伸ばせる分だけわきまえている



もの、絶えていくもの、また野鳥等に運こばれて新しく育つもの、様々な命をそれぞれが認め合いこの与えられた空間で生きていっていると思っ

ます。二百号を過ぎた「みつぎ便り」で毎月紹介してもまだまだ紹介しきれないものがたくさんあります。先日

も今までなかった「ノカンゾウ」を見つけました。来年も咲いてくれるかな、元気なオレンジ色の花を期待しましょう。

この生命で満ちた見次公園を、ドローンで空から見るとハートの形でそのハートの中心にある中之島にもたくさん生き物がいます。この暑さで先日「ニシキヘビ」が島から池を渡って岸まで来ました。公園に、ほとんど毎日のように見えているおじさん

皆様もどのくらい多くの生命に出会えるでしょうか。もし名前の分からないものに出会いましたら、お問い合わせ下さい。できる限りお答えしたいと思います。もしかして、新種が有るかもしれませんよ。

(直)

